

## 平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年5月10日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 大  
 コード番号 5724 URL <http://www.asaka.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 慶太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 忍 TEL 024-944-4744  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績（平成24年10月1日～平成25年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	4,781	34.7	152	8.2	154	193.2	95	224.1
24年9月期第2四半期	7,322	21.0	165	35.5	52	78.4	29	40.6

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 100百万円 (149.0%) 24年9月期第2四半期 40百万円 (73.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	38.42	-
24年9月期第2四半期	11.86	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第2四半期	4,794	2,182	45.3	873.83
24年9月期	4,514	2,115	46.7	848.43

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 2,173百万円 24年9月期 2,110百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	-	0.00	-	15.00	15.00
25年9月期	-	0.00	-	-	-
25年9月期(予想)	-	-	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 平成25年9月期の連結業績予想（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,099	15.2	252	1.2	225	89.7	122	66.2	49.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期2Q	2,572,300株	24年9月期	2,572,300株
期末自己株式数	25年9月期2Q	84,697株	24年9月期	84,697株
期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期2Q	2,487,603株	24年9月期2Q	2,487,620株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	7
( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
( 6 ) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、徐々に持ち直しに向かい始めた世界経済、堅調な個人消費や公共投資、回復に転じた鉱工業生産など、長引く景気後退に下げ止まりの兆しが見えてまいりました。

当社グループの経営成績に大きく影響を及ぼす、電子部品・デバイス工業分野においては、スマートフォンの新商品向け部品の需要の下振れや東アジア諸国との競争激化の影響で、生産活動は弱含みで推移しました。一方、主力製品である金と銅の価格は、期首からの円安により終始上昇基調で推移し、前年同期を上回る水準で推移しました。

このような環境のもと、当社グループでは、年度目標である、新しい市場の開拓、新たな事業基盤となり得る新規事業の構築、生産の効率化や新規事業創出のための技術開発、社内諸制度の変革を通じた経営管理体制の強化に取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、金属価格が上昇した影響を受けながらも、市場環境の変化や、取引形態変更による受託加工取引の割合の上昇によって、売上高は4,781百万円（前年同四半期比34.7%減）となりました。営業利益は、売上高減少の影響及び新規事業への先行投資の実施によって、152百万円（同8.2%減）となりました。経常利益は、デリバティブ評価損の減少により、154百万円（同193.2%増）となりました。四半期純利益は、95百万円（同224.1%増）となりました。

なお、貴金属事業における一部の売買取引を受託加工取引に切り替えたことにより、取引形態変更見合分の売上高が減少しておりますが、これによる営業利益への影響はございません。

各セグメントの業績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額については、セグメント間取引を含んでおります。

#### (貴金属事業)

当事業の主要なお客様が属する電子部品・デバイス工業分野の生産は、前年同期と比べやや弱含みで推移し、市場環境の変化や、取引形態変更による受託加工取引の割合の上昇によって、貴金属の販売数量は前年同期実績を大きく下回りました。また、主力製品である金の価格は、前年同期を上回る水準で推移しました。この結果、売上高は、4,398百万円（同35.2%減）となりました。セグメント利益は、396百万円（同57.2%増）となりました。

#### (環境事業)

当事業の主要なお客様が属する電子回路基板業界の生産は、引き続き低水準で推移し、市場環境の変化も相まって、当社の電子回路基板向けエッチング液及び銅ペレットの販売数量は、前年同期の実績を下回りました。また、銅ペレットの販売価格は、前年同期をやや上回る水準となりました。新規事業においても受注が伸びず減収となり、環境事業全体の売上高は360百万円（同28.8%減）となりました。セグメント利益は、売上高減少の影響により、21百万円（同64.4%減）となりました。

#### (その他)

システム受託開発事業においては、売上高が前年同期実績を下回りました。また、運輸事業においても、厳しい事業環境が続いております。この結果、その他の売上高は、99百万円（同7.8%減）となり、セグメント損失は、売上高減少の影響で、2百万円（前年同四半期は11百万円の利益）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

#### (資産の部)

前連結会計年度末に比べて279百万円増加し、4,794百万円となりました。

主な要因は、たな卸資産が127百万円、現金及び預金が116百万円増加し、受取手形及び売掛金が50百万円減少したことです。

#### (負債の部)

前連結会計年度末に比べて212百万円増加し、2,611百万円となりました。

主な要因は、未払法人税等が78百万円、社債が70百万円増加し、長期借入金が25百万円、短期借入金が10百万円減少したことです。

#### (純資産の部)

前連結会計年度末に比べて67百万円増加し、2,182百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が58百万円、その他有価証券評価差額金が4百万円増加したことです。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ116百万円増加し、556百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、176百万円となりました。(前年同四半期は178百万円の収入)

これは、主な支出要因として、たな卸資産の増加額が127百万円、退職給付引当金の減少額が10百万円であったものの、主な収入要因として、税金等調整前四半期純利益が153百万円、減価償却費が85百万円、売上債権の減少額が50百万円、仕入債務の増加額が26百万円であったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、49百万円となりました。(前年同四半期は132百万円の支出)

これは、主に有形固定資産の取得に49百万円を支出したことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、11百万円となりました。(前年同四半期は40百万円の支出)

これは、主な支出要因として長期借入金の返済額が38百万円、配当金の支払額が37百万円、社債の償還額が30百万円であったものの、主な収入要因として、社債の発行による収入額が98百万円であったことによるものです。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、平成24年11月9日の「平成24年9月期 決算短信」で発表いたしました連結業績予想のとおりであり、変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,031,642	1,148,507
受取手形及び売掛金	344,845	294,613
商品及び製品	617,644	697,843
仕掛品	308,490	358,053
原材料及び貯蔵品	17,415	15,076
繰延税金資産	43,628	48,797
その他	188,485	209,750
流動資産合計	2,552,151	2,772,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,185,046	1,203,546
減価償却累計額	653,864	670,299
建物及び構築物(純額)	531,181	533,247
機械装置及び運搬具	1,830,975	1,886,043
減価償却累計額	1,535,465	1,584,848
機械装置及び運搬具(純額)	295,510	301,195
土地	880,137	880,137
リース資産	71,234	71,234
減価償却累計額	31,380	37,820
リース資産(純額)	39,854	33,413
建設仮勘定	21,100	57,686
その他	163,276	165,614
減価償却累計額	147,661	148,343
その他(純額)	15,615	17,270
有形固定資産合計	1,783,400	1,822,951
無形固定資産	25,416	23,643
投資その他の資産		
投資有価証券	73,869	82,723
繰延税金資産	9,049	17,270
その他	70,894	75,026
貸倒引当金	22	22
投資その他の資産合計	153,791	174,997
固定資産合計	1,962,608	2,021,592
資産合計	4,514,759	4,794,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	153,134	179,876
短期借入金	678,370	667,725
1年内償還予定の社債	50,000	260,000
リース債務	13,445	13,226
未払法人税等	72	78,632
その他	449,878	539,623
流動負債合計	1,344,901	1,739,084
固定負債		
社債	490,000	350,000
長期借入金	204,950	179,950
リース債務	28,406	21,815
長期未払金	229,460	229,460
退職給付引当金	54,284	43,430
資産除去債務	47,305	47,730
その他	42	-
固定負債合計	1,054,448	872,386
負債合計	2,399,349	2,611,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	339,295	339,295
利益剰余金	1,288,292	1,346,557
自己株式	46,426	46,426
株主資本合計	2,085,458	2,143,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,098	30,027
その他の包括利益累計額合計	25,098	30,027
新株予約権	4,853	9,013
純資産合計	2,115,410	2,182,763
負債純資産合計	4,514,759	4,794,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	7,322,077	4,781,695
売上原価	6,479,946	3,978,859
売上総利益	842,131	802,836
販売費及び一般管理費	676,316	650,557
営業利益	165,815	152,279
営業外収益		
受取利息	25	22
受取配当金	753	1,158
受取賃貸料	3,952	3,875
デリバティブ評価益	-	6,450
借入金地金評価益	3,616	-
その他	2,070	5,337
営業外収益合計	10,417	16,844
営業外費用		
支払利息	10,893	9,326
デリバティブ評価損	100,799	-
地金借入料	3,777	3,116
その他	8,066	2,152
営業外費用合計	123,537	14,595
経常利益	52,695	154,528
特別損失		
固定資産除却損	844	609
特別損失合計	844	609
税金等調整前四半期純利益	51,851	153,918
法人税、住民税及び事業税	16,291	75,654
法人税等調整額	6,066	17,314
法人税等合計	22,358	58,339
少数株主損益調整前四半期純利益	29,492	95,578
四半期純利益	29,492	95,578



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,492	95,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,869	4,928
その他の包括利益合計	10,869	4,928
四半期包括利益	40,361	100,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,361	100,507

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	51,851	153,918
減価償却費	99,075	85,783
株式報酬費用	693	4,160
災害損失引当金の増減額(は減少)	6,303	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	10,775	10,853
受取利息及び受取配当金	778	1,181
支払利息	10,893	9,326
社債発行費	4,109	1,260
デリバティブ評価損益(は益)	100,799	6,450
為替差損益(は益)	497	871
固定資産除却損	844	609
売上債権の増減額(は増加)	171,274	50,231
たな卸資産の増減額(は増加)	136,362	127,424
仕入債務の増減額(は減少)	44,079	26,742
その他	17,976	2,337
小計	258,720	182,913
利息及び配当金の受取額	778	1,181
利息の支払額	10,466	8,915
法人税等の支払額	70,306	1,538
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,727	176,717
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	0	0
定期預金の払戻による収入	10,000	-
有形固定資産の取得による支出	140,978	49,203
無形固定資産の取得による支出	1,018	133
その他	943	353
投資活動によるキャッシュ・フロー	132,941	49,690
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	295,000	2,725
長期借入れによる収入	200,000	-
長期借入金の返済による支出	57,416	38,370
社債の発行による収入	195,890	98,740
社債の償還による支出	40,000	30,000
自己株式の取得による支出	25	-
配当金の支払額	36,621	37,314
その他	7,195	6,810
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,367	11,029
現金及び現金同等物に係る換算差額	497	866
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	5,915	116,863
現金及び現金同等物の期首残高	642,910	439,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	648,826	556,826

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,785,595	504,515	7,290,110	31,967	7,322,077
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	1,341	1,341	75,710	77,052
計	6,785,595	505,856	7,291,452	107,677	7,399,130
セグメント利益	252,462	61,206	313,669	11,702	325,372

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業及び運輸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	313,669
「その他」の区分の利益	11,702
全社費用(注)	272,677
四半期連結損益計算書の経常利益	52,695

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,396,935	356,241	4,753,176	28,518	4,781,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,375	3,951	5,327	70,793	76,121
計	4,398,311	360,193	4,758,504	99,312	4,857,817
セグメント利益又はセグメント 損失( )	396,960	21,781	418,741	2,249	416,491

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業及び運輸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	418,741
「その他」の区分の利益	2,249
全社費用(注)	261,963
四半期連結損益計算書の経常利益	154,528

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。